



白堊はくあ 第10号 令和3年11月9日発行



【進路行事について】

《2学年大学ドリーム講座 10月28日(木)》

大学の模擬講義を受講することで、「学問」が人間・社会とどう関わり、いま直面する課題をどう解決し、どのような世界を築いていくべきなのかについて考えを深め、自らの進学志望の具体化に役立てることを目的とする。今年度は全ての会場においてオンライン講義で実施しました。

【自己実現力】【課題発見力】【受信力・発信力】

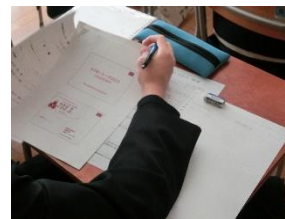


《1・2学年ドクタートーク》

青森県・青森県教育委員会が主催の事業で、医師を目指す中学生及び高校生が、医師の職業的な魅力を知り、地域医療に対する理解を深めるとともに、医師に求められる高い倫理観や使命感を学ぶことを目的とする。現役医師による講演を実施し、気概と目的意識を持った医学部医学科志願者を養成する。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等の観点から、Zoomによるインターネットオンライン配信で開催しました。

対象：主に東青・下北地域

講師：ひろさき糖尿病・内科クリニック院長長谷川範幸先生



令和3年度大学ドリーム講座講義一覧

番号	分野	講義タイトル	概要
1	人文社会科学 (博物館学・民俗学)	市民とともに地域文化を発見するー博物館活動の現場から	東北地方太平洋沖地震津波の被災地では、被災した地域文化に関わる資料を保全する文化財レスキュー活動が行われてきました。この活動の中心を担ったのは博物館です。この授業では、博物館と市民が協力して救った資料から地域文化を読み解く活動を取り上げ、1つの資料からどのような地域文化が読み解けるのかを考えます。
2	経営経済学 (国際経営論)	グローバル経済の統合と分断～Brexitから考える～	グローバル化の進展と経済統合という背景のもとで成長してきた多国籍企業の経営が変化を迫られています。講義では、一國至上主義やBrexitといった分断の動きが多国籍企業の経営に与える影響について論じます。
3	法学 (憲法・憲政史)	法学入門講座	法律の条文を見るとむずかしい用語が多いし、法を学ぶ前から苦手意識をもってしまう学生さんも多いです。しかし、私たちが住みよい社会を築くために重要な役割を果たしているのが「法」です。本講座は、法がどのような場面で、どのように使われているのかについて様々な事例を概観しながら、一緒に「法」について考えていきたいと思います。
4	教育学 (多文化教育・国際理解教育)	地球的課題解決のための変容的行動 (Transformative Action) とは何か	スウェーデンの環境活動家(高校生)のグレタさんは、地球資源を使い果たす大人世代を批判し、持続可能に生きることが不可能になっている今こそ行動が必要であることを主張しています。国連・ユネスコ・OECDなどが主張する変容的行動 (Transformative Action) に注目し、教育学に興味をもっているみなさんと一緒に地球や国際社会に向けてどう行動していけばよいか考えます。
5	国際協力政策	国際協力政策	講義の内容は、現代国際社会の現状を踏まえ、国際協力の意義や課題について考えてみたいと思います。特に、貧困問題や南北問題の現状を把握し、国連やその他の国際機関の機能・役割について、さらに日本(政府)の役割 (ODA) や、様々な国際NGO活動等を解説します。
6	工学 (材料工学)	有機EL開発物語 ～成功する秘訣を伝授します～	次世代ディスプレイとして注目されている有機EL (エレクトロルミネッセンス) の基礎から最新までを紹介します。そして、研究開発をとおして体得した研究者としての成功への秘訣。ノーベル賞受賞者や起業家など成功者が共通して有する資質とは何か。他では聞けない生で成功する秘訣をお話します。
7	工学 (複合材料設計学)	～未来に夢をつなぐ～ 東北大学工学部 世界最先端の複合材料研究	本講義では、自然界に存在する未利用のエネルギーを拾い集めてくれる不思議な「複合材料」、植物ナノ繊維を食べた量がつくり出す「複合糸」について概説し、エネルギー・環境問題を解決する方法を考えます。また、小型のウイルスセンサや大型の宇宙エレベータを取り上げ、複合材料の将来を展望する。
8	理学 (石油地質学・堆積学・シーケンス層序学)	石油はもうすぐなくなるのか?	石油や天然ガスなどの「化石エネルギー」は、あと何十年かでなくなってしまうのでしょうか? 中東やメキシコ湾などでたくさん採れますが、日本とかほかの地域には本当になのでしょうか? 地球上のどのような地質時代に、どのような環境で石油や天然ガスが生成されたのかを振り返ると、その答えが見えてきます。
9	農学 (土壌微生物学・土壌化学)	地球の生命を支える土壌	私たちは、普段にげなく土 (= 土壌) を足で踏みつけていますが、私たちが口にする食料の多くは土壌を基盤として生産されています。土壌は私たち人間だけでなく、地球上の生命が生きていく上で、なくてはならないものです。本講義では、簡単な実験を行いながら、土壌の機能やその重要性を説明し、土壌と関連した地球環境問題にも言及します。
10	情報工学 (画像処理、画像認識、情報検索)	文字認識から自動運転までー画像認識入門	スマホやデジタルカメラで撮影した写真に対して、写っている文字を自動的に読み取って翻訳したり、写っている人が誰かを特定したり、といったさまざまなサービスを可能にしたのが画像認識という技術です。この授業では、画像認識の基本的なしくみを実際の画像を目で見ながらわかりやすく解説します。
11	医学 (整形外科学)	医学とは～医療工学の現状と未来～	医学とは、生体構造や生理機能研究の他、疾病の性状、原因について調査し、その診断・治療・検査・予防等について研究し、さらには診療を行う学問である。つまり実践科学と言える。その背景にある基礎的研究は膨大であるが、本講義では整形外科領域における医療工学を一例として紹介し、その未来を考えたい。

【データを賢く使う力を育もう】

近年、AIによるビッグデータの解析をはじめ、ありとあらゆるものがデジタル化の波に揉まれています。すでにデータ科学の知識やスキルがさまざまな分野で必須になっていて、技術の分野だけでなく、営業や企画、人事、マーケティングの分野でもデータ科学の知識やスキルが求められています。データ科学の新たな技術を作り出す人材は重要です。それと同じくらい、その技術を賢く使える人材も重要です。今年度の弘前大学総合型選抜のケーススタディのテーマは「医療でAIを用いる効果的な方法と将来AIが医療現場で用いられる場合に求められる医師像」でした。ケーススタディでは与えられたシナリオ・統計資料から浮かび上がる具体的な問題点を把握し、課題発見〔現状分析〕をします。そして、発見した課題を引き起こした要因(複数)を、複数の統計資料を重ねることで指摘し、要因を掘り下げることによって、改善ポイントを明確にします。医学科に拘わらず、多くの学科で、データ科学のスキルが求められてきています。

【変化する社会の要請に応える】

設立されて間もない新しい大学・学部・学科を進路に選ぶのは、不安かもしれません。しかし、新しい大学・学部・学科には、特色やメリットがあります。まずはよく調べて、進路の選択肢に加えてみませんか。

現在の社会には、取り組まなければならない課題がたくさんあります。社会の変化が加速する今、それらを解決するために、従来とは異なる人材の育成が求められています。

例えば、医療・看護の分野では、超高齢社会に対応して、チーム医療が推進されています。その実現には、専門領域の最先端知識と、チームとして働ける協働力を備えた医療スタッフが多数必要です。そこで、チーム医療に参加する医療スタッフを育成する大学・学部・学科が次々と設立されています。

また、近年 AI(人工知能)などの技術革新が進み、人材の育成が急務になる中、「データサイエンス」を冠する学部・学科の新設が相次いでいます。

このような新しい大学・学部・学科では、従来の学問の枠組みと異なるアプローチの学びが期待できます。学問分野を横断した学際的な学びが可能であるなど、専門性をより高められる柔軟な科目選択ができるカリキュラムが設定されていることもあります。

グローバル化に対応するために、学部・学科を問わず、外国語によって授業が行われていたり、語学研修・留学が必須だったりする大学や学部もあります。最先端の学問を学ぶために最新の設備・施設が導入されていることも少なくありません。

【選択肢を増やし、価値観を広げよう】

ポストコロナ時代には、対面教育とオンライン教育を組み合わせた授業が主流になるかもしれません。オンライン化により、遠く離れていても授業を受けることが可能になりました。そんな現代だからこそ、少しでも地元以外の新しい世界を見てみたいと思う人は積極的に飛び出していこう。飛び出す場所が都会か地方か、などは関係ありません。地元以外の大学に進学することで世界を広げ、多くの経験を積むこともできます。もちろん地元の大学に進学したとしても、様々な学友たちと交流することや留学などで多くの経験を積むことは可能ですので安心してください。

みなさん一人ひとりが多くの価値観に触れ、成長し、将来の日本を活性化してくれることを期待しています。

【大学受験・進学費用の基本】

進学費用が発生するタイミングは、大きく分けて次の3つです。**1つ目は受験期**。受験料だけではなく、遠方の場合は交通費・宿泊費などもかかります。また、併願校が増えれば増えるほど、費用はかさみます。**2つ目は合格してから入学までの時期**。合格後、期限内に初年度納付金を支払ったり、新生活の準備をしたりする費用がかかります。総合型選抜、学校推薦型選抜は、選考・合否発表が一般選抜よりも早く、入学金などの支払い時期も早いのが特徴です。**3つ目は入学後**。毎年の学費など大学に払う費用のほか、下宿生の場合は仕送りが必要になります。これら3つの時期の費用は、進学先や自宅か下宿かなどの状況によって大きく異なります。

安心して進学するためには進学費用のことを考えておく必要があります。私自身も高校生の時に、親と話し合いをした経験があります。高校受験や大学受験でも私立受験ができず、経済的には余裕がありませんでした。高校生の時には「大学進学を希望するのであれば自宅から通える国公立大学であり、奨学金を借りてほしい」と言われました。そのため、日本学生支援機構から奨学金(入学時特別増額貸与を含む)を借り、入学金と授業料に充て、アルバイト費用を教科書や部活動の活動費に使いました。現在は給付型奨学金や様々な大学独自の奨学金制度も充実しています。色々と調べてみましょう。

入学するまでの費用 受験料は3万円~3万5千円

大学・短大を受験するには「受験料」が必要です。私立大学の一般選抜の受験料は1回およそ3万円から3万5,000円、3校受験すればそれだけで約10万円になります。

国立大学は大学入学共通テスト(旧センター試験)で1万8,000円、個別試験は前期選抜期前編などの1万7,000円×2=3万4,000円です。

受験料だけを見れば国立大学も私立大学とほぼ変わりません。総合型選抜(旧AO入試)や学校推薦型選抜の場合、少し金額が安く設定されている大学もあるのが特徴でしょう。

なお、受験する大学が自宅から遠い場合には交通費や宿泊費がかかることも忘れずに。宿泊を伴う場合、受験にかかる費用は平均30万円とも書かれています。

大学入学共通テスト(旧センター試験) (3教科以上)	18,000円
大学入学共通テスト(旧センター試験) (2教科以下)	12,000円
大学入学共通テスト(旧センター試験) 成績顯示手帳料(出願時)	800円
国公立大の2次試験	17,000円
私立大(一般選抜)	約35,000円 ※選考部などの選考料は約6,000円
私立大(共通テスト利用)	約15,000~20,000円

入学後にかかる費用 初年度納入金は文系で120万円

合格したら、入学金、授業料、施設設備費、教材費などの「初年度納入金」が必要になります。私立大学の文系でおよそ120万円、理系はおよそ150万円かるとされています。首都圏の大学では、文系でおよそ200万円、理系でおよそ250万円というデータもあります。

国立大学は入学金が約30万円、授業料が50万円程度となっています。

併願した場合には、いわゆる滞り止めの大学の入学手続きを先に済ませた上で次の合格発表を待つこととなります。もし、あとに受けた本命大学に合格しても滞り止めの大学の納入金は戻らない場合があります。無駄のないようにしましょう。

「初年度納入金」の納入方法

- 一括納入 入学手続きの際、金額を納入します。入学を辞退しても返還されないケースがほとんどです。
- 二段階方式 入学手続きで入学金を納入します。その後、二次手続きをしないと入学を辞退したことになりますが、入学金は返還されません。
- 延納方式 「延納費」を提出すると、入学金以外の納入を延期できます。入学を辞退しても入学金は返還されません。
- 返還方式 金額を納入したあとに入学を辞退する場合、「学費返還申し込み」期限までに返還を申し出れば、入学金以外が返還されます。

■初年度納入金の目安(2020年北海道・東北エリア)

国立大学	817,800円(標準) ※入学金282,000円+授業料535,800円
公立大学	平均 700,000~1,200,000円
私立大学	
経済系学部	1,000,000~1,200,000円
外国語系学部	1,000,000~1,250,000円
経営系学部	1,000,000~1,250,000円
法学系学部	1,000,000~1,200,000円
文学系学部	1,000,000~1,300,000円
理学系学部	1,000,000~1,200,000円
工学系学部	1,400,000~1,600,000円
農学系学部	1,300,000~1,600,000円

学生生活にかかる費用

自宅外生は住居費・食費の負担大、自宅生の多くは交通費が高め

生活費は、自宅生と自宅外生でかなり異なります。

一人暮らしのケースでは、仕送り額の平均は72,810円。これに奨学金やアルバイト収入を含めると、家賃の平均は53,930円、お小遣い(教養娯楽費、日常費)は、20,490円。この数年の推移をみると、ほとんど上下はしていません。

一方の自宅生はお小遣いが1万円程度で、収入の大半はアルバイトとなっている。

右表を見ると一人暮らしの支出は13万円弱。ただ、これは首都圏を含む全国平均であり、東北地方では、首都圏と比較して支出額が抑えられています。

1カ月の生活費		単身	
収入	支出	自宅生	自宅外生
仕送り(小遣い)	収入	13,480	72,810
奨学金	収入	1,620	2,700
アルバイト	収入	41,230	33,600
奨学金	収入	300	370
その他	収入	1,840	2,180
	支出	13,850	26,370
	支出	150	53,930
	支出	8,160	4,070
	支出	1,620	12,870
	支出	1,620	1,860
	支出	1,270	1,900
	支出	6,160	7,620
	支出	1,780	3,550
	支出	3,220	3,430
	支出	16,880	13,470